

(仮称)「施設更新・耐震化長期計画」の主要項目の構成(案)

本書は、現段階における(仮称)「施設更新・耐震化長期計画」の主要項目の構成(案)であり、今後、懇談会や地区意見交換会等の御意見を伺いながら、適宜見直ししていきたいと考えています。

《全地区共通事項》

1 計画の策定趣旨

(1) 本県の工業用水道施設は、施設の本格的な更新時期を迎えつつあり、また大規模地震への対策も急務となっている。

そこで、国が示した「工業用水道施設更新・耐震・アセットマネジメント指針」(以下「国の指針」という。)に基づき、抜本的な施設更新・耐震化事業を、合理的かつ適切に実施するため(仮称)「施設更新・耐震化長期計画」(以下「計画」という。)を策定する。

(2) 本計画は、工業用水の安定供給のため、必要な更新・耐震化事業を実施しようとするものであるが、その過程においては、適正な施設規模の検討も加えながら長期にわたる施設の更新需要を見通した上で、財政収支見通しを踏まえた優先順位を設定することで事業費の平準化を図るものとする。

2 計画の期間

国の指針が示す計画の想定期間や施設の平均的な耐用年数から、現中期経営計画の計画期間(平成25年度～29年度)が満了する翌年度の平成30年度から69年度までの40年間とする。

3 計画の構成

更新需要見通し、財政収支見通しの方針などの「全地区共通事項」と、施設概要、診断結果、更新需要見通し及び財政収支見通しの結果などの「地区別事項」により構成する。

4 計画と中期経営計画との関係

本計画は長期計画であるため、おおよその事業の着手時期及び事業費を示すものとし、事業実施に関する具体的な実施計画は、5年毎に作成する中期経営計画の中で示すものとする。

5 更新需要見通し

(1) 方針

- ア 原則として、全地区の全ての施設を対象とする。
- イ 見通しにあたっては、最大給水量の実績や需要見込みなどから、必要かつ有効な施設規模を検討する。
- ウ 更新需要には、各診断結果による現有施設の更新費用、耐震補強費用、供用期間延長のための補強費用を含む。
- エ 更新時期は、施設区分ごとに重要度・影響度を勘案した更新基準を設定し、耐震診断や機能診断結果に基づく個別施設の状態・健全度を踏まえ検討する。
その際、あわせて必要な耐震補強や供用期間延長のための補強の実施時期及び内容も検討する。

(2) 内容

- ア 更新需要見通しは、計画期間の40年間で5年毎に区分し、地区別に示す。
- イ 個別施設別に事業費、事業の着手時期・期間、更新及び補強などの対応策を示す。

(3) 妥当性の確認

更新需要見通しは、複数ケースを検討し、異なる条件での更新需要を算定し、更新需要の発生時期や事業量の妥当性について確認し、最適な更新時期により、事業費の平準化を図るものとする。

6 財政収支見通し

(1) 方針

更新需要見通しに対する財政面への影響を検討し、適切な料金水準や資金残高、企業債残高等を把握する。

(2) 内容

- ア 平成30～69年度までの収支見通し
- イ 各費用の算定条件を示した上で、収支見通し結果として、純利益、資金残高、企業債残高、企業債充当率、料金改定率の項目を表で示す。

(3) 妥当性の確認

財政収支見通しの検討結果について、「料金水準は、更新財源確保の面から妥当か」、「資金残高から見て、経営の安定性は保持されるか」、「資産維持費を導入した場合の影響はどうか」などその妥当性を評価し、検討内容・

結果に問題があると判断される場合には、更新需要見通しまでフィードバックして再検討を行う。

7 事業化に向けての検討事項

事業化に際しては、民間活力の活用により効果的かつ効率的な事業運営が可能となる場合もあるので、その導入も選択肢の一つとして検討を進めていく。

《地区別事項》

1 千葉県工業用水道事業の概要

(1) 事業概要

7 地区、給水能力 1 1 5 万 m³等

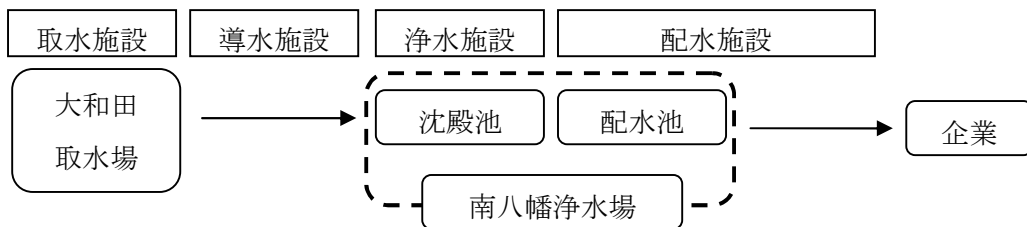
(2) 地区別事業一覧表

2 地区別計画

[東葛・葛南地区]

(1) 施設系統の概要

(イメージ図：図示により地区内の主要施設の系統概要を記載する。)



(2) 個別施設の概要と診断結果

(イメージ図：老朽化診断と耐震診断の両方の対象となる施設があるため、診断結果は施設別一覧表により表示する。)

(土木構造物)

項目 \ 施設区分	取水口	沈殿池	配水池	〇〇〇
規模・構造	R C	R C 2 池 86,400 m ²	R C 2 池 13,900 m ²	〇〇〇
設置年次	S46	S44	S43	〇〇〇
重要度評価	A 1	A 1	A 1	〇〇〇
老朽度	20	15	79	〇〇〇
総合評価	59	25	10	〇〇〇
更新優先順位	4	1	7	〇〇〇
対応策	更新	10 年の供用期間の延長補強後更新	耐震補強	〇〇〇

(注) 重要度評価・・・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

更新総合評価点数・・・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(3) 更新需要見通し

(イメージ図：5年単位で個別施設毎に、事業の着手時期・期間、概算金額を示す)

(単位：年度、百万円)

区分	H30～H34	H35～39	H65～69
南八幡浄水場			
土木構造物 更新 (供用期間延長)	沈殿池更新工事 700		汚泥貯留槽供用 期間延長補強100
耐震化		配水池1号耐震 補強工事 300	配水池2号耐震 補強工事 200
機械・電気設備 更新		受変電設備 200	中央監視設備 200
金額計	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

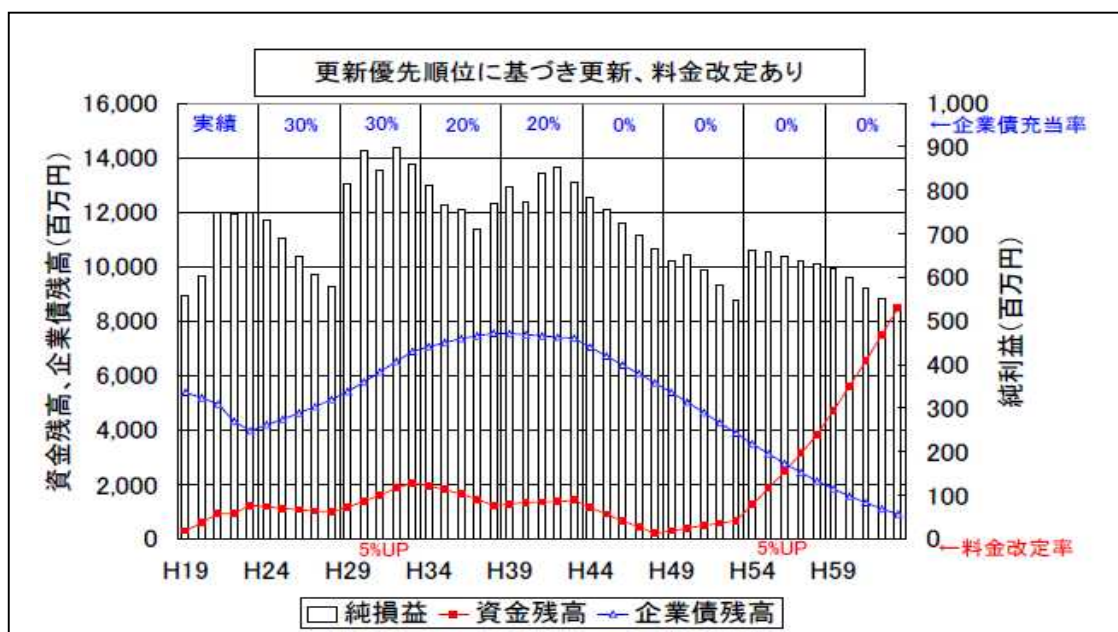
(4) 財政収支見通し

ア 収支見通しの算定条件

企業債、建設改良費等各費用の算定条件を示す。

イ 収支見通し結果 (イメージ図)

(出典：国の指針「ケーススタディ」より抜粋)



以下7地区を〔東葛・葛南地区〕に準じて記載
〔千葉地区〕 ～ 〔北総地区工業用水道事業〕